

「創る」の思い

校長 伊藤 俊幸

「『つくる』の原稿をお願いしたいのですが」と担当者が来て、原稿依頼をされました。私の頭では、「つくる」はて？・・・渡された書類を見て会津支援学校の通信で「創る」ということが分かりました。

「作る」「造る」ではなく、なぜにこの「創る」なのか。しばし考えてみました。このタイトルを付けた方はどのような思いでこの漢字を使ったのだろうか。

「つくる」の一般的な表記は「作る」です。「料理を作る」「集団を作る」など手を加えて、もともと違ったものに仕上げる。材料・素材などに手を加えて、価値あるものに仕立てる。それにたいして、「造る」は「船を造る」「庭を造る」など、大規模なものをつくる場合、さらには形あるものをつくる場合に特に使われます。

では「創る」は。「芸術作品を創る」「新しい雑誌を創る」など、「新しく生み出す」という意味合いにおいて使われるようです。熟語でよく使われる言葉に「そうそう」があります。この場合は「想像」ではなく「創造」となります。

では話を戻しましょう。このようなことから、このタイトルを付けた方は、設立された会津支援学校（当時は会津養護学校）をこれから、新たな学校としていかに創り上げていこうか夢をはせながら、このタイトルにしたのでしょう。

創立当初は、「こうしたい、あのようになりたい」と思い描いていても、実際は思い描いていたようにはいかず、さらなる対応を迫られたはず。毎日毎日が産みの苦しみだったはず。将来を見据えての基礎づくり。

それを引き継ぎながら30年目を迎えた令和元年の今年。本校の学校経営・運営ビジョンの重点目標に、「一人一人の児童生徒が生き生きと輝く学校を目指して」を掲げさせてもらいました。児童生徒は、性格も違えば成長の度合いも違います。好きなことも一人一人異なり、得意なこと十人十色。出来ないこと、苦手なことも児童生徒にはあります。ただ出来ないこと、短所にばかり目を向けていたのでは、決して「生き生きと輝く」状況にはなりません。一人一人を大切に「みんなちがって、みんないい」なのです。将来を見据えて、会津支援学校で学ぶ児童生徒がよりよく成長できるよう、これからも「創る」の理念を忘れずに歩みを進めてまいります。

～安全・安心に向けた取り組み～

生徒指導部

生徒指導部では、「安全な生活や通学に向けた指導の充実」、「関係機関と連携し、事件事故の未然防止や早期発見、早期解決」といった重点事項をあげており、全職員が一丸となって学校全体で指導にあたっています。

1 安全な生活や通学に向けた指導

(1) 通学について

①「通学の手引き」を使って、通学バスの利用や自力通学の捉え方、通学の諸手続等をお知らせしています。これをもとに教員と保護者が連携して「適切な通学方法」や「自立した通学に必要な力」等について考え、指導を行っています。

②下校時、学校から会津若松駅までの通学路において、不審者への警戒や緊急時の対応、交通ルールの遵守に向けた巡回指導を、全職員で行っています。

③各学部とも年に数回、交通安全教室を行い、交通ルールや公共機関の適切な利用の仕方、緊急時の対応等について学習しています。また、外部団体から用具借用の御協力もいただいております。

(2) 生活について

本校の学校安全計画を作成し職員全体へ共通理解を図りながら、安全教育を進めています。高等部においては、「携帯電話やスマートフォンなどの安全な利用法を身に付け、トラブルを未然に防ぐ」といった目標のもと、「SNS に関する指導の充実」に努めています。

2 関係機関との連携

① 外部講師（会津若松警察署員）を依頼し、様々なテーマ（「SNSの利便性と危険性」等）について講話をしていただく予定です。自分たちの現状や実際に起こった事故や犯罪から、「どういった点が問題なのか」を考えていくことで、生徒たちも自分のこととして捉えながら、学習に取り組んでいます。

② 児童生徒が地域で安全に生活できるように、会津地区管内の警察署と連携を取りながら、非行防止や不審者への対応、行方不明時の捜索活動等にご協力いただいております。

※「安全」「安心」に対する指導・支援は、学校の中だけでは育ちません。家庭や地域、学校が連携し、協力して子ども達の力を育てていくことが大切だと考えています。

小学部

小学部は15名の新入生と2名の転入生を加え、78名でスタートを切りました。新・転入生みんなが、新しい環境に慣れ、集団での活動をそれぞれに楽しんでいます。今年度も個々の目標を達成できるように、学級・学年での活動、そして、学部全体での集団活動に取り組んでいます。

《入学おめでとう会》

新入生にとっては初めての学部全体の集会でしたが、落ち着いて参加できました。みんなでダンスをするなどして盛り上がりました。

《運動会》

今年度は2回目の日曜日開催となりました。大勢の応援を受け、元気いっぱい、頑張っている姿を見せることができました。ダンスや親子リレーなど保護者の方々と一緒に行う種目では楽しんでいる様子が見られ、とてもよい思い出になりました。



高等部

今年度の高等部は、33名の新入生があり総勢86名の生徒でスタートしています。高等部では、将来の社会生活や職業生活に備え、自ら判断し行動できる力や自らを律し他人と協調する力、心身の健康の保持増進に努める力を高めるため生徒の能力や特性等に応じて3年間で適切に学習できるように教育課程を設定しています。

具体的には、基礎的・基本的な知識の習得と実生活で活用できる技能の向上のため「国語」「数学」「職業」等の教科学習を中心としたクラス、各教科を合わせて自立的な生活に必要な知識や技能を実践的・総合的に学習するクラス、そして心身の調和的発達を基盤を培う「自立活動」を主としたクラス、家庭での学習を中心としたクラスに分かれ、それぞれが段階的、実践的に学習を進めています。その中でも高等部の主要学習に



なる「作業学習」の充実が年々図られており、1日作業日を年6回、また地域の関係機関にご協力をいただいて校外での作業学習も多数計画されています。



中学部

今年度は、21名の新入生と2名の転入生を迎え、60名の生徒と32名の職員で学校生活を送っています。中学部になるとグループ別の学習や学年縦割りの学習も増え、学級以外の友達や先生とかかわる機会が増えます。

【新入生を迎える会】2・3年生が1年生のために準備や会の運営をしました。一人一人自己紹介をしたり、学部の行事をスライドで見たり楽しい時間になりました。

【第Ⅰ期校内実習】今年度は外注作業グループ、ペットボトルリサイクルグループ、自立活動グループに分かれて5日間実習を行いました。1年生は初めての校内実習でしたが、それぞれのねらいをもって進めることができました。

今学期は2年生の宿泊学習や3年生の職場見学など学年による活動も計画されています。1年生から実施される校外体験学習や進路学習の段階的な学習の積み重ねが将来の社会生活に活かされるように取り組んでいます。



『本年度の研修について』

今年度の校内研究は「主体的・対話的で深い学びを実現する授業を目指して～児童生徒の内面の育ち（気づきの変化）に視点をあてて」というテーマで研究に取り組んでいます。

小学部中学部高等部の学部ごとに、学年や各教科のグループに分かれて、日々の授業の中で、何ができるようになるか（ねらい）、何を学ぶか（活動内容）、どのように学ぶか（手立て）、何が身に付いたか（評価）を明確にした授業シートを作成し、グループ内で話し合いを行いながら研究を進めています。各教員が授業を大切にしたい研究を行うことで、児童生徒の皆さんが自分自身で考え、気づき、行動することのできるような深い学びが身に付いていくことを目指しています。

夏季休業中には、専門性の向上や地域の情報交換などを目的として、関連機関見学研修や校内外に広く参加を呼び掛け、全会津特別支援教育セミナーを実施します。